

ぎふ感染症かわら版

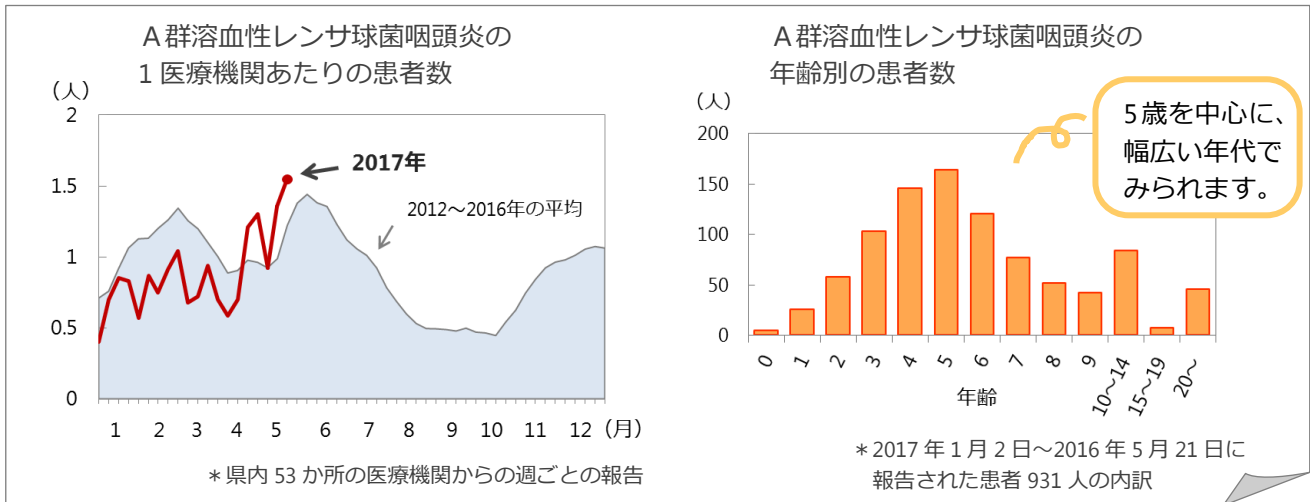
平成 29 年 5 月 26 日 岐阜県感染症情報センター（岐阜県保健環境研究所）



A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎に注意しましょう！

A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、お子さんによくみられる感染症で、冬と、春から夏にかけて患者が多くなります。

今年は県内で 4 月下旬から患者が増加していますので、注意しましょう。



どんな病気？

A 群溶血性レンサ球菌（溶連菌ようれんきんと呼ばれます。）による感染症です。

感染すると、急な発熱と**のどの炎症（咽頭炎）**を起こします。

舌が赤くなってぶつぶつができる、**イチゴ舌**と呼ばれる症状が出ることもあります。

溶連菌は、咽頭炎の他にも、皮膚の炎症や中耳炎など、

感染する場所によってさまざまな症状を起こすことがあります。

治療には**抗菌剤**が有効です。菌を確実に退治するために、

症状がよくなっても、**処方された薬を最後まで飲む**ことが大切です。



どうやってうつるの？ 予防方法は？

溶連菌は、感染した人の鼻やのどに出てくるため、

咳やくしゃみのしぶきによる**飛沫感染**や、手指を介した**接触感染**でうつります。

予防には、こまめな**手洗い**が大切です。

家庭や**学校**など、人と人とのふれ合いが多い場所で広がりやすく、

特に兄弟間でうつることが多いので気をつけましょう。



保育所や幼稚園、高齢者施設など、希望される施設に対して「ぎふ感染症かわら版」のメール配信もおこなっています。くわしくは岐阜県感染症情報センターホームページをご覧ください。

岐阜県感染症情報センター

